

安吾賞

第4回



第4回安吾賞
渡辺謙様
2010年3月24日
新潟市長 篠田昭

安吾賞とは生きざま賞である。



新潟市

ANGO
Awards
The 4th

安吾の覚悟

日本文化私観

どうしても書かねばならぬこと、書く必要のあること、ただ、そのやむべからざる必要にのみ応じて、書きつくされなければならぬ。

安吾の純情

桜の森の満開の下

彼の手の下には降りつもった花びらばかりで、女の姿は掻き消えてただ幾つかの花びらになっていました。そして、その花びらを掻き分けようとした彼の手も彼の身体も延した時にはもはや消えていました。あとに花びらと、冷めたい虚空がはりつめているばかりでした。

安吾の喝

墮落論

墮ちる道を墮ちきることによって、自分自身を発見し、救わなければならない。政治による救いなどは上皮だけの愚にもつかない物である。



岩肌の裏側

村松友視

坂口安吾という存在は、そのせに一滴の涙のけはいを秘めるごつごつとした岩の塊のような人で、その岩が風にあおられ水に流されつつ、切なく呵々大笑するその比類ないありさまを、私などは陶然として遠望するのが精いっばいというところだ。近くに寄っての検分や分析など思いもよらず、どちらかといえば全肯定の姿勢で大雑把に打ちながめることを、ずっと続けている。

安吾と同じ新潟に縁のある野坂昭如さんもまた、私にとつてそれに似た思いを抱く存在だ。中央公論社で発刊していた文芸誌『海』の担当編集者として十二年ほど、原稿取りをめぐる壮絶なバトルを野坂さんとはつづけたものだったが、その果てに何とも清々しい思いが残った。きれいなお辞儀の姿をはじめ、あらゆる場面での魅力的な姿が、私の目のうらにいくつも突き刺さっているのだ。そんな記憶の余韻が、今でも時おり軀の内側を、心地よくキックする。ごつごつして見える岩肌の内に、研きぬかれた清冷な資質を隠し持ち、安吾のセンスと強かさなる人である。

渡辺謙さんの舞台デビューは、渋谷パルコ劇場における、唐十郎作『下谷万年町物語』だ。その舞台で渡辺謙さんは、いきなり主人公の「美少年」役として登場、初々しくもしたたかな演技をこなしていた。この作品は、文芸誌『海』に載った小説の戯曲化で、私は作者・唐十郎さんの担当者だったから、この舞台を初日に見ている。最近の渡辺謙さんの活躍を見るたびに、ごつごつとした岩石の底にたゆたう、青春らしい一滴の水の生半可でない潤いを透し見る気分が生じるのである。



新潟市長
篠田 昭

第4回安吾賞は、俳優の渡辺謙さんに決定しました。

新潟県魚沼市(旧北魚沼郡小出町)のご出身である渡辺さんは、卓越した演技力と存在感で若手のころから映画やテレビ、舞台などで次々と大役を演じてきました。二度にわたり大病に襲われますが、その度に不屈の闘志で乗り越え、俳優として見事に復帰。その後は海外映画にも進出し、日本を代表する国際俳優として確固たる地位を確立しています。

渡辺さんの生き方、国内のみならず世界の大舞台で挑戦を続ける強い信念と行動力は、「現代の安吾」にふさわしいといえます。

今回初めて、新潟県出身の方に安吾賞を差し上げることになりました。

したが、これからも新潟との絆を大切に持ちながら、世界で活躍していただきたいと思えます。

また、新潟市にゆかりのある方にお贈りする新潟市特別賞は、作家の野坂昭如さんに決まりました。

野坂さんは終戦後、新潟県副知事を務めていた実父・野坂相如さんに引き取られ、旧制新潟高等学校(現新潟大学)に編入。副知事公舎としての活躍をはじめ、大変多才な方ですが、衆議院議員選挙に新潟3区から立候補したときのこと、当時私も取材をした経験から大変印象に残っています。

本日の授賞式はご欠席ですが、戦い続ける野坂さんのダンディズムに大いなる敬意を表したいと思えます。

新潟市はこれからも反骨と飽くなき挑戦者魂の安吾精神を発揮する「現代の安吾」に光を当て、安吾賞を広く発信してまいります。



選考委員長
野田 一夫

第4回「安吾賞」の選考を終えて

昨春秋、第4回「安吾賞」受賞者に渡辺謙さんが決まったと聞いた人の多くが、当時話題の映画『沈まぬ太陽』との関係を連想されたようだが、それは全くの誤解である。毎年強調してきたように、「安吾賞」は「生き様」賞であるから、映画俳優としての氏の生き様が多くの選考委員に高く評価されたのであって、特定の(映画)作品での演技は選考に全く影響を与えていない。たしかに俳優にとつて演技力は必須の能力だろうが、やはりその人の人柄が演技力に反映されてはじめて観客の心を打つものである。全ての人間にとつて「生き様」とは、その人柄の人生への反映にほかならない。氏の成

功は単に天与の風貌や体格とか、親

の七光りや特定の人物やグループの引き……といったものによるものではない。

氏は若くして俳優を志してある劇団に入り、二十歳代末にはNHK大河ドラマ主演での好演技で一躍スターダムにのしあがり、洋々たる前途を確実視されながら三十歳代のほとんどを難病との戦いに明け暮れながら仕事と取り組み、やっと難病を克服して四十歳代に入るや突然米國映画「ラストサムライ」に抜擢されて好演し、以後は懸命に英語力を増幅させつつ国際派俳優として華々しい活躍をつづけてきている。

この一貫して穏やかならざる人生の展開過程に反映された氏の並々ならぬ生き様、これこそがわれわれ選考委員に深い感銘を与えてやまないものであったことを、改めて強調しておきたい。

なお、「安吾賞」第4回目にして初めて新潟県出身者が受賞されたことも、偶然だったとはいえ、選考委員一同にとつて嬉しい結果であった。

第4回安吾賞

新潟市ゆかりの作家である坂口安吾は、文学をはじめ多くの分野において何事にも一生命に挑み続ける人であった。安吾の精神を具現し、さまざまな分野で挑戦し続けることにより、わたしたち日本人に喝を与えた個人または団体を表彰する「安吾賞」。挑戦者を応援する新潟市は、第4回の受賞者として、俳優の『渡辺謙』氏を選出した。

第4回
安吾賞

俳優

渡辺

わたなべ
けん

謙

世界の扉を拓く越後魂

渡辺謙、俳優。生まれ育った雪深い故郷の環境が、今、役立っているという。18歳で故郷を後にしてから漂泊のときもあった、病も壁もあった。

それらを乗り越えてきたのは、「負」に耐える力だっただろうか、それとも「負」を受け入れる柔軟さだったろうか。

おそらくその両方だったのだろう。伏してのち立ち上がる。豪雪という魔物と闘う越後人の生き方にも似ている。崖っぷちでのぎりぎりの選択はすなわち転機でもあるということを彼の生き方が教えてくれる。

追い詰められたときにこそ一歩先に希望を探し出す視線の強さが、ハリウッドの扉を開ける鍵となった。その眼差しは安吾とよく似ている。



略歴

1959年10月21日生まれ
新潟県魚沼市(旧北魚沼郡小出町)出身
新潟県立小出高等学校卒業
1984年 映画デビュー「瀬戸内少年野球団」
1987年 NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」
1993年 NHK大河ドラマ「炎立つ」
1998年 「絆」(第22回日本アカデミー賞・優秀助演男優賞)
2001年 「千年の恋 ひかる源氏物語」(第25回日本アカデミー賞・優秀助演男優賞)

2002年 「陽はまた昇る」(第26回日本アカデミー賞・優秀助演男優賞)
2003年 「ラストサムライ」(第76回アカデミー賞・助演男優賞ノミネート ほか)
2005年 「バットマンビギンズ」
2005年 「SAYURI」(Memoirs of a Geisha)
2006年 「明日の記憶」(第30回日本アカデミー賞・最優秀主演男優賞 ほか)
2006年 「硫黄島からの手紙」
2009年 「沈まぬ太陽」恩地元 役

自己を育んでくれた土地の有難味

大変名誉ある賞を頂くこと

嬉しく思っております。

これまで様々な役に

取り組んでまいりましたが

自分が生まれ育った越後という環境が

大変役に立っております。

自己を育んでくれた土地の有難味を

とみに実感している次第です。

その故郷から誉めて頂けたこと

本当に嬉しく思っております。

ありがとうございます。



野坂昭如

の さ か あ き ゆ き

作家

新潟市特別賞

ぼくは、
ぼくの人生から逃げない

略歴

1930年10月10日生まれ
神奈川県鎌倉市出身
早稲田大学文学部仏文科中退
1947年 空襲で養父を失い上京、新潟県副知事を務めていた実父に引き取られる
1948年 旧制新潟高等学校（現新潟大学）を経て、早稲田大学文学部仏文科に入学
1963年 「おもちゃのチャチャチャ」でレコード大賞作詞賞受賞、小説「エロ事師たち」発表
1967年 「火垂るの墓」「アメリカひじき」で第58回直木賞受賞 焼跡闇市派といわれる
1983年 参議院議員選挙比例代表から立候補し当選。12月、衆院議員選挙新潟3区から立候補するが次点
1997年 「同心円」で吉川英治文学賞受賞
2002年 「文壇」で泉鏡花賞受賞

写真：荒木経惟

なりたかったもの
大人

「アール」から

安吾さんはデカかった

野坂昭如

「ノアール（野荒れ）」講談社刊
りハビリ中の野坂昭如が言葉を書き
荒木経惟が撮り下ろし
黒田征太郎が絵筆を振るった

十八才の秋、安吾の布団を敷いた。ぼくが新潟の実父に引き取られて一年が経った頃の話。当時珍しくもないが、ぼくは生後すぐ、神戸に養子に出された。養父は石油関連の仕事、今でいう商社マン。当時

れの人だった。血の繋がりのないことを知らんぷりで通し、実家に帰されないうよう、つとめていい子ぶった。昭和二十年六月五日、神戸大空襲ですべて破壊された。養父は亡くなり一家は離散。食うや食わずで焼け跡を彷徨ううち、妹はぼくの手の中で飢え死した。

の各家庭を知らないが、養家は配給生活の中で珍しく空襲直前まで毎日白いご飯、時にカニタマ、ハムなどが食卓に並び裕福な生活

福な生活

だった。小学校五年の春、学校に提出する書類から、自分の生い立ちに気付き、だが何一つ不自由ない暮らしぶり。むろん実家については知る由もなく、きつと貧しい環境でぼくを手放したのだろうと考えていた。

何より、養父にかわいがられ、お洒落で教養の高い彼はぼくにとって憧



ぼくは一人
流浪の日々。
あげくある
日突然、実
父が目の前
に現われ、
ぼくは引き
取られること
になった。父

は新潟県の副知事だった。ぼくは一夜にして、浮浪児から副知事の息子へ変身。初めて見る実父、「よう、どうしたい」、父がぼくの肩に手をかけた。ぼくは大声で泣きじゃくった。

初めての新潟、生活は一変した。父の仕事柄、いろんな客人の接待を引き受ける。ぼくは新潟高校へ通いながらこれを手伝った。といつても年中、お辞儀をしては布団を敷くぐらい。

敗戦後、焼け跡で腹を減らしながらも、本を乱読していた。他に楽しみなど無かったのだ。小学校一年から戦争が始まり、学校の授業といえば中学一年まで。以後、勤労奉仕に明け暮れ、そして空襲。焼跡整理。ぼくはほとんど授業らしい授業は受けていない。本は手に入るまま、まさに何でもござるように読んだ。焼け跡の読書は血肉と化した。なかに、墮落論があった。こっちは十四歳ですべて失い、茫然とするばかりの日々。安吾の言葉に気が楽になった。人間の真実にふれた思いがした。

父の関係からか、安吾さんは講演会のついでに、公舎に一泊なさったのだろう。当時は近辺に旅館もなかった。安吾さんは何も喋らず、ぼくは黙って布団を敷くだけ。終わって会釈、部屋を出た。初めて目にした坂口安吾はデカかった。ぼくに託って最初の小説家体験。

安吾賞・新潟市特別賞というありがたい賞を戴けるにあたって、老いたる体を励ましつつ、反骨の気持ちをふり立たせている。

いつぱん、安吾と飲みたかった。



千も万もおめでとう



渡辺謙さんへ
メッセージ

安吾の霊に感謝



瀬戸内寂聴・第3回安吾賞受賞

安吾賞の御受賞おめでとうございます。
前年私が受賞してこういう席で皆様から祝っていたのが、つい昨日のように思われますのに、はや一年の歳月が流れております。歳を取るにつれ時の流れが早く感じられます。

安吾賞は文学賞ではなく、その人の生き方に下さると聞いて、小説家の私は、複雑微妙な感じを受けたものでしたが、私の戦後の生き方は、まさに安吾の「墮落論」を教科書として、体当たりで生きてきましたので、それが認められたと思えば、ひとしおの感慨がありました。

渡辺さんのこの度の御受賞も、安吾の破滅型の生き方と、優等生的な渡辺

さんの生き方に、一瞬おや、と思いましたが、今や世界の渡辺としてハリウッドのスターとして活躍していらつしやるお仕事ぶりを見れば、なるほど安吾の情熱を持たれ、いつでも捨身の一生懸命さが安吾の血統の方なのだ、深く納得致しました。

覚えていらつしやいますか、あなたが再起不能かと危ぶまれた大病から立ち直られた直後、私が良寛のことを書いた「手毬」という小説の映画化の話が起りました。私は良寛を演じて下さる俳優さんを選ぶ時、何の迷いもなく「渡辺さんにお願いで！」とプロデューサーに頼みました。病後のやせた渡辺さんに良寛の上品で慈味のある全容がびつたり重なったのです。

あの時、あなたは、とても魅力的な役だけれど、まだ体力に自信がないからと断つてくれました。

松本幸四郎さんが十キロもダイエットして、とてもすてきな良寛を演じて下さいましたが、その画面を見ながら私はあなたのおもかげを良寛の上に重ねていたのです。

あれから、あなたは本当に御健康を取り戻され、目覚ましい活躍をつづけていらつしやいます。どれもみな話題になった好評の作品にはあなたの並々ならぬ不屈の精神と、挑戦力が輝いてい

ます。
今後も益々目覚ましい御活躍を展開なさることでしよう。

あなたと結びつけてくれた安吾の霊と、御遺族と、新潟の皆さまに深く感謝しております。

渡辺さん、もう一度千も万もおめでとうございます。

社会へのアプローチ



野口健・第2回安吾賞受賞

第4回安吾賞受賞おめでとうござい
ます。若年性アルツハイマーをテーマとした「明日の記憶」拝見させていただきました。映画の関係のインタビューで、渡辺謙さんが「役者として社会問題を取り上げることに意味がある」とおっしゃっていました。私も強く同感しています。日本人は、とかく政治的な話になると意見をしたがらない傾向があるように思われますが、しかし、社会問題とは、政治家や官僚だけに任せるのではないと思います。社会へのアプ





安吾賞記念盾

監修：小磯稔（新潟大学名誉教授）
彫金：亀倉康之（日展会員、日工会理事）
背景板：『錦塗』新潟市漆器同業組合

ローチは、渡辺謙さんのような強いメツセージ性を持つ方を含め、社会にかかわる全ての人の役割でもあります。私も渡辺謙さんと同じような気持ちで登山家なりに現場で感じたことを社会に訴えていきたいと思えます。本当におめでとございます。

硬派の渡辺謙さん



野田秀樹・第1回安吾賞受賞

私が受賞した時は、私などからスタートして大丈夫か？いけてんのか？この賞に先はあるのか？などと、あれこれ私自身が一番心配しておりました。が、こうして毎年なるほど、この方がいたか、よくぞまた、安吾の名前にふさわしい人を見つけてきたなど、感心しきりです。今年の渡辺謙さんの受賞で、坂口安吾賞に、硬派の生き様に対する賞という意味合いが加わったのではないのでしょうか。毎年、こうやって意味合いが一つずつ加わっていくというのが素

晴らしいですね。面識はありませんが、渡辺謙さん、いつかどこかですれ違った時、安吾繋がりといいことで、よろしく。無視しないでください。おめでとうございます。

偶然という必然



角川歴彦

（株）角川グループホールディングス
代表取締役会長
安吾賞推薦人

『沈まぬ太陽』の初日、日比谷のスカラ座で謙さんが内緒で観客の中に混じって一人の観客として、皆さんと一緒に初めて初回上映を見ていただきました。謙さんはその後、舞台で初日のあいさつ。例外的な素晴らしいメッセージをこの映画とそれから映画界に流していただきました。そういう情熱家の俳優・渡辺謙さんと、新潟と、それから角川…三題嚙みみたいな話をちよつと申し上げて、お祝いの言葉にしたいと思います。

旧大映を含む角川映画の2000本の中で代表作の一つに『天と地と』があります。謙さんに実は上杉謙信役をお願いし、もちろん謙さんも非常に喜んでいただいておりますが、病気になるられて突然の降板ということがありました。

そしてこの度『沈まぬ太陽』に出ていただきました。『天と地と』、そして今度の『沈まぬ太陽』と運命的なつながりを感じますし、そこに新潟というその土地柄が深く関わりあったということを感じて、非常に何か今日は偶然と言えない、偶然のつながりの必然みたいなものを今感じてこの席に立っております。

角川書店と新潟という坂口安吾のつながりで申し上げますと、角川文庫はもう創刊60年を越えますが、安吾さんは収録作家の代表的な方で『墮落論』も入って全19点、発行部数は439万部という膨大な数になっております。安吾さんには、出版人の角川としても足を向けて寝られないわけです。その安吾さんの賞を謙さんが頂いたことに、謙さんにお祝いと、それから新潟の皆さん、市長をはじめ皆さんに本当に心から感謝を申し上げます。

（受賞者発表会のスピーチを抄録）

【第4回】

安吾賞音信

第4回選考委員会

2009/8/4,5,10/1

全国から推薦があった約80名の候補者の中から選考が行われた。宣言書にある「権威におもねらず本質を提示するもの」「自らの信念を貫き挑戦し続けるもの」「日本人に勇気と元気を与えるもの」を選考の基本としながら白熱した議論が交わされ、第4回安吾賞は渡辺謙さんに決まった。

記者会見

2009/12/3

篠田市長と野田選考委員長による記者会見が新潟市で行われた。「渡辺謙さんは二度にわたり生命にもかかわるような大きな病氣、困難を克服し、国際俳優として名を成している。渡辺さんの生き方や行動力、強い信念は挑戦者魂に貫かれており、わたしたちに大いなる勇気と元気を与えてくれている」と、その選考理

由が語られた。

また、新潟市特別賞について篠田市長は「作家の野坂昭如さんにお贈りする。文壇での活躍はもちろんだが、衆院選新潟3区からの立候補が個人的には大変印象深い。その後倒れたが、リハビリに取り組みながら現在も意欲的に執筆活動が続けている。本市ゆかりの大家家として、反骨と飽くなき挑戦者魂あふれるこれまでの活動に大いなる敬意を表し、新潟市特別賞を差し上げたい」と述べた。

発表会

2010/1/19



左より、渡辺謙さん、篠田昭新潟市長、野田一夫選考委員長

東京都内のホテルにおいて、出版・報道各社、関係者などを招き、渡辺謙さん出席のもと受賞者発表会を開催した。当日は、第2回新潟市特別

安吾年譜

明治三十九年（一九〇六）十月二十日、父仁一郎、母アサの五男として新潟市西大畑町に生まれる。（本名・柄五）西堀幼稚園、新潟尋常高等小学校（現新潟小学校）へ進む。大正八年県立新潟中学校（現県立新潟高等学校）入学。この頃から学校にもあまり登校せず、ひとり日本海に面する浜辺に寝こんで空と海と風と波と光とを終日眺め思索した。荒漠たる風と日本海の風景は安吾文学の原風景といえる。

余は偉大なる落伍者となつていつの日か歴史の中によみがえるであろう。大正十一年、中学三年生の九月、落第が決定的となり東京の豊山中学校三年に編入。この時、新潟中学校の机のふたに「余は偉大なる落伍者となつていつの日か歴史の中によみがえるであろう」と彫つたという。大正十四年豊山中学校を卒業。世田谷下北沢の分教場（現代沢小学校）の代用教員となり自然の中に悪童たちと遊んだ。その体験は『風と光と二十の私と』になる。この頃から求道の厳しさに対する憧れが強まる。

求道者 安吾 大正十五年、東洋大学印度哲学倫理学科に入学。悟りを開くため多くの哲学宗教書を読破、睡眠四時間という厳しい修行生活を一年半続け神経衰弱に陥つたが、それを梵語、バリー語、チベット語、フランス語、ラテン語などを猛然と勉強することにより克服した。

文壇デビュー 昭和六年一月、処女作『木枯の酒倉から』を発表。五月『ふるさと』に寄する讃歌、六月『風博士』を発表、牧野伸一が激賞。七月『黒谷村』を発表、島崎藤村などが賞賛し、新進作家として文壇に認められる。昭和七年の夏、新進女流作家の矢田津世子を知り烈しいプラトニッ

写真右から：
選考委員会
記者会見
受賞者発表会2点



渡辺謙

Watanabe Ken

出でよ、現代の安吾



安吾賞

第4回

2010
3月24日
WED

授賞式

第4回安吾賞授賞式の観覧者を募集します。
2010年3月22日(木) 18:30開演 (18:00開場) 新潟県民会館大ホール

【観覧券の種類】
①当日券(当日受付) ②前売券(前売券受付) ③特別券(特別券受付)
④団体券(団体券受付) ⑤学生券(学生券受付) ⑥障害者券(障害者券受付)
⑦高齢者券(高齢者券受付) ⑧障がい者同伴者券(障がい者同伴者券受付)
⑨障がい者同伴者券(障がい者同伴者券受付) ⑩障がい者同伴者券(障がい者同伴者券受付)

観覧者募集

出でよ、現代の安吾





宣言書

坂口安吾が生まれ、青春の思索を育んだ地である新潟市から
世俗の権威にこらわれずに本質を提示し
反骨と鋭い挑戦者魂の安吾精神を發揮する
現代の安吾に光を当てたい。
日本人に大いなる勇気と元氣を与え
明日への指針を示すことで現代の世相に喝を入れる
人物や団体に「安吾賞」を贈ることを
ここに宣言する。

2006年2月17日 安吾忌に寄せて

選考委員
野田一夫 新井清 池田弘 藤口孝
河田桂子 齋藤正行 坂口隲男 吉海正子
新潟市長 藤田昭

安吾賞宣言書 2006年2月17日 安吾忌に寄せて

賞受賞者のカール・ベンクスさん、安吾賞推薦人でもある(株)角川グループホールディングス会長の角川歴彦さんらがお祝いに駆けつけた。また、安吾賞の歴代受賞者である野田秀樹さん、野口健さん、瀬戸内寂聴さんからもメッセージが寄せられた。

席上、渡辺謙さんは「この安吾賞には重さではなく、空飛ぶカーペットのような、何か自分を違う所にスツとスライドさせてくれるようなイメージがある。僕もまだまだこれからいろいろな場所に、いろいろな人達と出会うために、この安吾賞というカーペットに乗って空を飛んで行きたいと思うている」と語った。



賞状を受け取る
野坂陽子さん

また、同日夜開催された「第6回新潟フレンズパーティー」において、野坂昭如さん夫人の陽子さんから代理出席いただき、篠田市長が新潟市特別賞の賞状と記念トロフィーを贈呈した。陽子さんは、「どうもありがとうございました。これが野坂の一番のお礼のことばでございます」と、野坂さんから当日託されたというメッセージを披露してくれた。

ク・ラブに陥り、安吾は懊悩し酒場のマダムなどと同棲するデカダンスな生活を重ね、四年後ようやく彼女と訣別を決意。昭和十三年、新たな決意のもと執筆した長編『吹雪物語』は酷評され、安吾は自分に絶望し、転居を繰り返して自らを孤独の淵に置きながら、どん底の淪落の生活を送る。しかし『紫大納言』(昭和十五)、『木々の精谷の精』(昭和十五)などの新境地をひらく。

小菅刑務所・ドライアイス工場・軍艦に見いだす必然の美 昭和十七年、国粹主義の時代、大胆な『日本文化私観』を発表し、伝統文化を鷗呑みにすることの欺瞞を指摘した。

陸ち切るにより真実の救いを発見せよ 昭和二十一年、敗戦後の昏迷の中でいち早く戦後の本質を洞察し、四月『墮落論』、六月に『白痴』を発表。この二編は、若者を中心に戦後虚脱していた日本人に強い衝撃を与えた。戦前戦中の倫理観を捨てた新たな生き方を指し示す革命的宣言は希望の書となり、『墮落論』によって戦後の日本が再スタートした。昭和二十二年『風と光と二十の私と』、『桜の森の満開の下』、『不連続殺人事件』、『青鬼の禪を洗う女』を発表。

戦う安吾 昭和二十五年、『安吾巷談』を連載し、戦後のタブーに挑戦する。昭和二十六年国税局と税金滞納、差押えをめぐる『負けレマセン勝ツマデハ』を発表。税金闘争をひとりで戦い抜き、同年九月には競輪不正事件で自転車振興会を相手どり戦う。『夜長姫と耳男』(昭和二十七)発表。

急逝 昭和三十年(一九五五)二月十七日、古代史の雄大な構想とともに、原風景に由来する創造活動に意欲を燃やしはじめた矢先に、桐生の自宅で脳溢血で急逝した。享年四十八

安吾賞選考委員



委員長
野田 一夫
(財)日本総合研究所理事長
多摩大学名誉学長



副委員長
猪口 孝
新潟県立大学学長 法制審議会委員
日本学術会議会員



池田 弘
(学)新潟総合学園総長



岩里 祐穂
作詞家



齋藤 正行
安吾の会世話人代表
新潟・市民映画館シネ・ウインド代表



坂口 綱男
写真家/エッセイスト
(坂口安吾長男)



古海 正子
日本アイ・ピー・エム (株)
人事シニアアドバイザー



松岡 正剛
編集工学研究所所長
イシス編集学校校長

安吾賞推薦人 (敬称略50音順)

青木 邦雄 (財)東日本鉄道文化財団専務理事
青島 健太 スポーツライター
嵐山 光三郎 作家
安齋 隆 (株)セブン銀行代表取締役社長
稲盛 和夫 京セラ(株)名誉会長/稲盛財団理事長
植村 柄音 著述業
内田 力 (株)コロナ代表取締役社長
梅原 猛 哲学者
荻野 アンナ 作家/慶應義塾大学教授(文学部)
角川 歴彦 (株)角川グループホールディングス代表取締役会長
川淵 三郎 (株)角川書店取締役会長
菊池 明郎 (財)日本サッカー協会名誉会長
北川 正恭 筑摩書房代表取締役社長
小林 幸子 早稲田大学大学院教授
佐藤 忠男 歌手
佐藤 信秋 映画評論家/日本映画学校校長
白井 克彦 参議院議員
関川 夏央 早稲田大学総長
高澤 正樹 作家/神戸女学院大学客員教授
武田 鉄矢 新潟放送相談役/日本文芸家協会会員
田中 里沙 海援隊
檀 太郎 宣伝会議編集室長
敦井 榮一 CMプロデューサー/エッセイスト
中山 輝也 新潟商工会議所会頭
野沢 慎吾 新潟経済同友会代表幹事
服部 幸應 セコム上信越(株)代表取締役副会長
早野 透 (学)服部学園理事長/服部栄養専門学校校長/
半藤 一利 医学博士/新潟市食と花の総合アドバイザー
火坂 雅志 朝日新聞コラムニスト
福武 總一郎 作家
藤沢 周 小説家
牧 作樹 (株)ベネッセコーポレーション代表取締役会長兼CEO
三瀧 未雄 作家/法政大学教授
三田ジョンストン智子 (株)ティー・ヴィー・キュー九州放送代表取締役会長
三田村 邦彦 (株)ミヅマアートギャラリーディレクター
村松 友視 アルビレックスチアリーダーズ・チーフディレクター
村山 俊晴 俳優
山口 昭男 作家
山本 寛斎 日本銀行監事
岩波書店代表取締役社長
デザイナー/プロデューサー

安吾賞賛同者 (敬称略50音順)

渥美 千尋 パキスタン特命全権大使
泉田 裕彦 新潟県知事
内海 桂子 (社)漫才協会名誉会長
ジェームス三木 脚本家
篠田 正浩 映画監督/早稲田大学特命教授
瀬戸内 寂聴 作家/僧侶
檀 ふみ 女優
手塚 眞 ヴィジュアルリスト
福原 義春 (株)資生堂名誉会長
松永 二三男 日本テレビ放送網(株)企画開発担当部長
宮田 亮平 東京藝術大学学長
(株)旺文社

肩書きは2009年4月1日現在のものです。



第4回 安吾賞授賞式 2010年3月24日 新潟県民会館

◎授与式 (安吾賞授与式 および 新潟市特別賞授与報告)
◎渡辺謙 一問一答

【安吾賞事務局】〒951-8550 新潟市文化政策課
TEL. 025-226-2563 FAX. 025-230-0450
E-mail bunka@city.niigata.lg.jp
【安吾賞】URL
<http://www.city.niigata.jp/info/bunka/ango/>
【坂口安吾デジタルミュージアム】URL
<http://www.ango-museum.jp>